平和発信事業

ヒロシマの孫たち2022
The Grandchildren of Hiroshima

「あなたの子どもの頃について聞かせてもらえませんか」
あの当時、広島で起きていたこと。今、どこかで起きていること。
これから、そして、ここから、私たちが伝えていくべきこと。
私たちは広島に居る。だから広島の声を届けたい。
きっと、それぞれの街に、国に、声があるはず。それを聞きたい。
今、世界が手をつなげたら・・・それを願って。

戦争って？平和って？
当たり前ってなんだろう？

ヒロシマの孫たち

8月5日(金) 開演① 18:30
8月6日(土) 開演② 11:00 ③ 15:00
(開場は開演30分前です)

JMSアステールプラザ 1階市民ギャラリー
広島市中区加古町4番17号

一　般　**1,500円**
高校生以下 **1,000円**　※全席自由　3歳～未就学児は無料

【チケット取り扱い】
NPO法人子どもコミュニティネットひろしま TEL: 082-231-8015
JMSアステールプラザ情報交流ラウンジ　TEL: 082-244-8000
ヒロ孫ウェブサイト www.grandchildrenofhiroshima.com

主催　NPO法人子どもコミュニティネットひろしま
共催　(公財)広島市文化財団アステールプラザ
企画・製作 ヒロシマの孫たちプロジェクト

あなたにとって、本当に大切なものとは..

この舞台は実話をもとに創られています。

広島の被爆者の方々が広島の子どもたちのインタビューに答え、
戦時中の暮らしのこと、原爆投下された時のこと、
そして、次世代の子どもたちへ伝えたい想いを語ってくださいました。

インタビューをした子どもたちとちょうど同い年くらいだったころの記憶。
戦時中で何もなかったけれど、楽しかった友達とのこと、家族のこと。
兵役のこと。戦争で叶えられなかった夢のこと。
原爆投下でズタズタにされた悲惨な光景、その後のこと。
そのインタビューをもとに作られたのが「ヒロシマの孫たち」です。

劇中では被爆者の方々の生の声、インタビュー音声も使用しています。
皆さんも、どうか耳を傾けてみてください。

私たちへのメッセージに。

「ヒロシマの孫たち」は、演劇をとおして戦争の悲惨さや平和であることの大切さを伝承するプロジェクトです。
イギリス在住のマリーゴールド・ヒューズによって自身の広島への想いをもとに企画・スタートしました。
2014年、彼女は共同演出の秋葉よりえと来広し、呼びかけに答えた20人の広島の子どもたちとワークショップを開催します。
インタビュー方法についても、みんなで話し合い、トレーニングを積んだ後、被爆者のみなさんへのインタビューを行ってきました。
その後の4年間はその年のメンバーでゲームのようなワークの中でコミュニケーションを学び演劇という形で表現していました。
そして今年は、これまで出演者として携わってきた地元の若者たち、有志たちで、新たに"朗読劇"として創り上げ披露いたします。
「ヒロシマの孫たち」はこうして毎年、色々な方々と共に変化しながらも、様々な場所でより多くの方々へ語り繋いでいきたい。
そんな想いをもって創られた朗読劇です。ご興味ある方は気軽にお問合せ、ご参加ください。
会場では感染対策をしっかり行いみなさまのご来場をお待ちしております。

メンバー一同

「ヒロシマの孫たち2022」
- ◇脚本　瀬戸山美咲(ミナモザ主宰)
- ◇演出　宮地綾
- ◇美術　ウエダサユリ(unima舎)
- ◇音響/照明　池田典弘・岸本夏芽
- ◇制作　小笠原由季恵・田城美怜
- ◇協力　木谷幸江

ヒロシマの孫たち2014~プロジェクトスタッフ
- マリー・ゴールドヒューズ
- ジョナサン・ペサブリッジ(London Bubble Theatre)
- 秋葉よりえ
  (NPO法人シアター&パペットアンサンブルグラシオブルオ)
- 長谷川康子
- ウィルフ・ペサブリッジ(順不同)

会場地図

(JR広島駅から)【広島バス】24号線吉島営業所行、
または吉島病院行 - 加古町下車(徒歩2分)
【市内電車】広島港行(紙屋町経由)-市役所前下車(徒歩7分)
江波行 — 舟入町下車(徒歩5分)(お車で お越しの方)駐車場有【20分毎100円】